

令和5年度 第1学年入学者選抜 試験問題

学校推薦型選抜

小 論 文

注 意 事 項

1. 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を除いて1枚、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚です。
「はじめ」の合図があってから確かめなさい。
3. 監督者の指示に従い、解答用紙に受験番号を記入しなさい。ただし、氏名を書いてはいけません。
4. 文字などの印刷に不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に知らせなさい。
5. 解答はすべて解答用紙に横書きで記入しなさい。ただし、「総得点欄」「採点欄」に記入してはいけません。
6. 試験終了後、配付された問題用紙、下書用紙は持ち帰りなさい。

問題用紙

(小論文)

次の文を読み、問1・問2に答えなさい。

人生とは自分自身が主役を演ずるドラマです。しかし実生活のドラマでは、単に演ずる以上のことをしなければなりません。自分自身で脚本を書くのです。始めから結末がわかっているドラマと違い、どういうドラマを描くかは、私たち次第なのです。

(中略)

自分で人生を歩き始めるということは、羅針盤もない小さな船で大海に漕ぎ出していくようなものです。(中略)

もし将来を見通すことができるならば、状況に適した正しい行動をとるように人生を計画することが可能かもしれません。しかし反面、若い時に失敗や苦労を経験したために、人間として成長し、後の人生を強く生きてゆくことができるとも言えるのです。そのためには、自分自身を客観的に見る素直さを持ち、過去の失敗から学ぼうとする謙虚な心を持って一生懸命努力することが必要なのです。(中略)

「ごく普通の能力しか持たない人間は、どうすれば大きな成功をなし得るのだろうか」

次に掲げるごく単純な方程式が、この問いに答えてくれます。

人生の結果=考え方×熱意×能力

「能力」とは、健全な肉体や、才能、持って生まれた適性などのことですが、多分に先天的なものです。しかし、「熱意」というのは、どうしてもこうありたいという強い思いであり、自分自身で決めることができます。「能力」と「熱意」は、それぞれ、最低の0点から最高100点の間で評価されます。仕事をする時、この二つの要素は掛け合わされるのです。

したがって、飛び抜けた才能がなくても、自分の欠点を知っていて、それを補うために誰よりも情熱を燃やして一生懸命努力する人は、生まれながらの才能に恵まれ、それを鼻にかけてたいした努力をしない人より、大きなことを成し遂げることができるのです。

三番目の要素である「考え方」は、どういう心構えで人生を送り、仕事をするかということです。「考え方」は、マイナス100点からプラス100点の幅で点数をつけることができます。嫉妬、恨み、憎しみという否定的な感情に囚われている人は、その心構えがマイナスになり、その結果人生もまたマイナスになるのです。逆に、前向きで素直な考え方を持っている人は、素晴らしい人生を送ることができ、成功することでしょう。

この方程式を見ると、人生の結果というものは我々自身の手に乗ねられていることがわかります。そして、「考え方」が、自分の仕事や人生の成功、不成功に、どれほど大きな決定力を与えるかということもわかるのです。

(出典：稲盛和夫著『[新装版] 成功への情熱』，株式会社 PHP 研究所，2007 年，中略と字体変更，ルビの削除を一部行った。)

問1 上の文章，特に人生の結果に関する方程式を参考に，これまでの自分の人生で経験した成功例もしくは失敗例を1つあげ，その際にあなたの考え方や熱意がどのように影響したか，または，あなたがどのように成長したか，320-400字で述べなさい。

問2 あなたが活躍したい科学技術分野で成功するためにどのような考え方が必要か，100-200字で述べなさい。